

平成28年度 青森県県土整備部優良工事表彰(県土整備部長表彰)

工事名 駒込ダム4号工事用道路(その13)工事

施工箇所 青森市大字駒込地内

受注者 (株)佐藤建業 県土整備部長表彰

主任技術者 柏谷哲也 優良技術者表彰

工事概要

工期 平成26年5月2日～平成27年11月30日

完成年月日 平成27年11月30日

概要 施工数量 L=103.2m
 道路土工 N=1式
 崩壊部処理工 N=1式
 (掘削・残土処理工 V=16,000m³)
 アンカー工 N=16本
 法枠工 A=333m²
 補強土壁工 A=175m²

請負額 117,995,400円
 評定点 86点
 代表者 代表取締役 千葉 昇
 現場代理人 柏谷哲也
 監理技術者 柏谷哲也
 推薦公所 東青地域県民局
 地域整備部
 総括監督員 古川幸博
 主任監督員 伊東 隆
 監督員 中村 匠

表彰理由

本工事は、八甲田山中の険しい斜面に道路を新設する工事であり、降雪のため施工期間が短く、且つ国立公園という自然・社会的制約に加え、複雑な地形・地質構造に起因して発生した斜面崩壊の対策工等に対し、積極的かつ主体的に対応して工事を円滑に完遂した。また、①ふとんかご施工にツレバー工法を採用し施工の省力化を図り、②地盤伸縮計(警報装置付)の設置及び斜面監視員の配置等により地山の挙動監視体制を確立し、③土砂流出防止のため仮設防護柵の提案等により工程の短縮や工事中の安全及び環境の保全が図られた。以上のように、様々な制約に配慮した工夫によって困難を克服し、所要の成果を達成したため、他の模範となる優良工事である。

【①施工省力化(ツレバー工法)】

【②地山挙動監視】

【完成写真】



【斜面崩壊状況】



崩壊範囲

【③土砂流出防止】



受賞コメント

この度、このような荣誉ある賞を賜り誠にありがとうございます。本工事は工程制約がある中、斜面崩壊という自然不可抗力により現場は困難を極めました。無事に完工することができました。これは監督員・現場技術員と施工業者との密な協議によるコミュニケーションが良くとれたことが最大の要因だと考えます。本工事に携わり、ご指導、尽力いただいた関係者の方々に心より感謝申し上げます。今回の受賞を励みにこれからもさらなる技術・品質向上に努力していききたいと思います。

代表取締役
千葉 昇監理技術者
柏谷 哲也

平成28年度 青森県県土整備部優良工事表彰(県土整備部長表彰)

工事名	虹貝新田区域急傾斜地崩壊対策工事	
施工箇所	大鰐町大字虹貝 地内	
受注者	(株)中幸建設	県土整備部長表彰
主任技術者	藤田 義隆	優良技術者表彰

工事概要	
工期	平成27年7月1日～平成28年3月10日
完成年月日	平成27年12月11日
概要	施工延長 L=24.0m 待受防護柵工 L=24.0m

請負額 68,514,120円
 評定点 86点
 代表者 代表取締役 中村 幸正
 現場代理人 藤田 義隆
 主任技術者 藤田 義隆
 推薦公所 中南地域県民局
 地域整備部
 総括監督員 工藤 富雄
 主任監督員 羽田 英明
 監督員 梅村 豪

表彰理由

本工事は、急傾斜地の斜面中段に待受防護柵を設置するもので、斜面下部に人家が近接して安全対策において非常に厳しい施工条件の中、資機材搬入のためのモノレールや作業足場の強度確認、現場条件でのクレーンの試験施工を行うなど十分な安全確保を行い、また、工事の進捗状況を上空から撮影する新技術を活用など自主的に実施した。以上のように、困難な自然環境を克服し、事故なく完成させたもので、他の模範となる優良工事である。

モノレール架設完了



作業足場組立完了



カニクレーン試験施工



ドローン上空撮影



待受防護柵工場検査



受賞コメント

この度、栄誉ある「県土整備部長賞表彰」を賜り、誠にありがとうございます。

ご指導を頂きました監督職員の皆様、並びにご協力を頂いた関係各位の皆様には感謝するとともに、心から御礼申し上げます。

今後ともこの受賞を誇りとし、社会資本整備への貢献を通しての地域社会の発展とさらなる品質向上に邁進して参りますので、今後とも関係各位の皆様方には更なるご指導・ご鞭撻のほどを賜りたくお願い申し上げます。

代表取締役
中村 幸正主任技術者
藤田 義隆

平成28年度 青森県県土整備部優良工事表彰(県土整備部長表彰)

工事名 平川広域河川改修(大和沢川工区)工事

施工箇所 弘前市大字堀越地内

受注者 アサヒ建設株式会社 **県土整備部長表彰**監理技術者 乗田 丞 **優良技術者表彰**

工事概要

工期 平成27年9月8日～平成28年3月25日

完成年月日 平成28年3月24日

概要

施工数量	N=1.0式
樋門・樋管本体工	N=1.0式
法覆護岸工	N=1.0式

請負額 66,434,040円

評定点 87点

代表者 代表取締役 対馬 金吾

現場代理人 乗田 丞

監理技術者 乗田 丞

推薦公所 中南地域県民局

地域整備部

総括監督員 工藤 富雄

主任監督員 笹森 正幸

監督員 藤田 幸徳

表彰理由

本工事は、平川広域河川改修事業の大和沢川工区に計画されている排水樋門及びそれに関連する工事を施工するもので、工事内容は11工種36種別と多いが、工事材料や作業機械の搬入路を独自に確保するなど計画工程どおり完成した。また、仮締切用大型土のうの製作にあたり、製作器を工夫し、安全に一定の大きさに仕上げたり、冬期間のコンクリート養生では、温風ヒーターの送風ダクトを使用し、河川内に油脂類を持ち込まないよう工夫した。以上のように、当該工事は冬期間の工事にもかかわらず、品質出来栄えに優れ、事故・苦情も無く、他の模範となる優良工事である。

[完成写真]



[大型土のう製作]



[温風ヒーター養生]



[仮締切大型土のう]



[既設護岸への摺付け]



受賞コメント

このたび、荣誉ある県土整備部長表彰をうけ賜り深く感謝申し上げます。ご指導いただいた監督職員の皆様、ご協力いただいた関係者各位の皆様には心よりお礼申し上げます。

今後ともこの受賞を励みとし、全社を挙げて施工品質の向上と安全・安心を第一に考えた施工を目指し、社会に貢献できるよう一層の努力を重ねて参ります。



代表取締役
対馬 金吾



監理技術者
乗田 丞

平成28年度 青森県県土整備部優良工事表彰(県土整備部長表彰)

工事名 八戸百石線道路災害防除工事

施工箇所 八戸市大字内舟渡地内

受注者 (株)石上建設 県土整備部長表彰

監理技術者 皆川 文秀 優良技術者表彰

工事概要

工期 平成27年3月28日～平成27年12月28日

完成年月日 平成27年12月28日

概要 施工延長 L=96.3m
流末管渠 L=94.8m
接続柵 N=1基請負額 151,004,520円
評定点 85点
代表者 代表取締役 岩渕 仁
現場代理人 皆川 文秀
監理技術者 皆川 文秀
推薦公所 三八地域県民局
地域整備部
総括監督員 岡前 憲秀
主任監督員 内海 達也
監督員 本田 友一

表彰理由

本工事は排水機場改修の一環で県道から排水ポンプ場までのL=96.3mの排水路を整備するもので、幅2.5mと狭隘かつJRに近接している箇所で、雨水時には県道冠水対策もしなければならぬなど非常に厳しい作業環境にあったが、特許工法(オープンールド工法)の現場説明会を施工期間中に実施し、公共機関やコンサルタントへの周知及び技術力の向上に努めた。また、JR近接のため電車の通過時には作業を一旦中止する必要があったが、JR側の法面の変位観測を実施し施工報告をJRと密に行うことにより、工期内に問題なく工事を完成させた。更に、既設ポンプ室が当該事業のために使用できない状態において、降雨時には仮設ポンプを常に稼働できるように、施工中の排水計画並びに現場管理体制を整えて対応した。以上のように、困難な条件を克服し、かつ工事の安全管理及び技術力向上に努め、特に顕著な成果をあげたもので、他の模範となる優良工事である。

【完成写真】



【現場説明会】



【法面変位観測】



【仮設ポンプ設置状況】



受賞コメント

この度は、荣誉ある県土整備部長表彰を賜り、誠にありがとうございます。これも関係監督職員の皆様のご指導と、工事関係者各位のご協力によるものと、深く感謝申し上げます。今回の表彰は弊社にとりまして誇らしいものであり、担当者のみならず全社員の更なる進化を生み出すものと思っております。

今後も更なる技術の研鑽に努め、全社一丸となり地域社会の発展に貢献できるよう邁進して参りますので、今後とも関係各位の一層のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役
岩渕 仁監理技術者
皆川 文秀

平成28年度 青森県県土整備部優良工事表彰(県土整備部長表彰)

工事名 八戸港津波高潮対策八太郎4号埠頭防潮堤工事

施工箇所 八戸市大字河原木地内

受注者 (株)田名部組 **県土整備部長表彰**監理技術者 三村 裕輝 **優良技術者表彰**

工事概要

工期 平成26年12月25日～平成27年7月31日

完成年月日 平成27年7月28日

概要 施工延長 L=159.98m
 擁壁工 L=159.68m
 基礎工 N=32本
 排水構造物工 N=1式
 舗装工 N=1式

請負額 109,428,840円

評定点 84点

代表者 代表取締役 田名部 智之

現場代理人 菊池 徳寛

監理技術者 三村 裕輝

推薦公所 三八地域県民局

地域整備部

総括監督員 苜米地 鋭

主任監督員 瀬川 義幸

監督員 長嶋 孝明

表彰理由

本工事は八戸市河原木地区において、八太郎4号埠頭の防護ラインとして、防潮堤を整備する事業であり、荷役関係会社との交通規制範囲の調整や、場所打ち杭の施工における地中支障物による障害等、非常に厳しい施工環境であったが、これらに積極的かつ主体的に対応し、円滑に工事を完遂した。また、L型擁壁の施工における、クラック誘発目地の設置や保水養生シートによるコンクリートの湿潤養生などの、品質の向上への対策の実施や、安全管理における、リスクアセスメント自動化システム「オルフェウス」の採用によるリスクアセスメント作業への取り組み、中・高校生を対象としたインターンシップによる現場見学会の実施による地域とのコミュニケーションも実施されていた。以上のように困難な現場条件を克服し、かつ創意工夫を持って施工に努め、特に顕著な成果をあげたもので、他の模範となる優良工事である。

【完成写真】



【場所打ち杭施工】



【地中障害物】



【クラック誘発目地】



【オルフェウス】



【保水養生シート】



【現場見学会】



受賞コメント

この度は、当社が施工の工事に県土整備部長表彰を賜り、誠に有難うございます。

これもひとえに、監督職員の方々をはじめとする皆様よりいただいたご指導ご支援の賜物と厚くお礼申し上げます。

これを機に、ますます品質の充実研鑽や創意工夫に力を注ぎ、皆様のお役に立てるよう努力する所存でございます。

代表取締役
田名部 智之監理技術者
三村 裕輝

平成28年度 青森県県土整備部優良工事表彰(県土整備部長表彰)

工事名	五所川原岩木線道路改良工事		
施工箇所	北津軽郡板柳町大字掛落林地内		
受注者	齋勝建設(株)	県土整備部長表彰	
監理技術者	諏訪 哲也	優良技術者表彰	

工事概要

工期 平成27年6月24日～平成27年11月30日

完成年月日 平成27年11月17日

概要 施工延長 L=260.0m
 道路土工 N=1.0式
 カルバート工 L=43.0m
 排水構造物工 L=380.0m
 防雪柵工(撤去・移設) L=261.0m
 舗装工(下層路盤) A=2,620m²

請負額 97,014,240円

評定点 90点

代表者 代表取締役社長 齋藤 彰浩

現場代理人 角田 樹治

監理技術者 諏訪 哲也

推薦公所 西北地域県民局

地域整備部

総括監督員 工藤 裕二

主任監督員 菊地 幸三

監督員 工藤 一彦

表彰理由

本工事は、主要地方道五所川原岩木線と交差する国道339号の縦断改良を行ったものである。

当該路線は交通量が非常に多く、通過車両が整備済みの迂回路を利用していたため、冬期間の走行性の安全確保の観点から早期完成の必要があった。また、既設防護柵の撤去移設や道路を縦横断する複数の水路設置、多数輻輳する隣接工事との工程調整、及び関係機関や地権者との対応等、数多くの課題があったが、これら全てに積極的かつ主体的に対応し、円滑に工事を完遂した。

以上のように、品質出来栄えが優れ、特に工程管理と地元調整が優秀であったもので、他の模範となる優良工事である。

【輻輳する工事現場】



隣接2工区、工事5件

該当工区

【着工前】



【完成】



【工期短縮の取組】



プレキャスト製品使用

【連絡協議会】



【関係機関調整】



教育機関への説明

【関係機関調整】



警察協議・説明(現地)

受賞コメント

この度、県土整備部長表彰を賜り、誠にありがとうございます。この栄誉は、西北地域県民局地域整備部道路施設課のご指導と、地域住民の皆様のご協力の賜と心得ております。心より感謝と御礼を申し上げます。弊社は、高品質、高効率の施工を目指し、品質・環境・安全のシステムを運用し、社員の資質向上を図っております。

今後もこの栄誉を励みに、益々技術力の研磨に努め良質な建設工事を通して、地域発展のために貢献いたします。

代表取締役社長
齋藤 彰浩監理技術者
諏訪 哲也

平成28年度 青森県県土整備部優良工事表彰(県土整備部長表彰)

工事名	国道 279 号道路改良工事		
施工箇所	横浜町字雲雀平地内		
受注者	東北建設株	県土整備部長表彰	
監理技術者	三浦 雅之	優良技術者表彰	

工事概要

工期 平成 26 年 9 月 5 日～平成 27 年 11 月 9 日

完成年月日 平成 27 年 11 月 5 日

概要 施工数量 L=380.0m
 道路土工 1 式 (切土工 22,620m³)
 法面工 1 式 (防草工 123 m²)
 排水構造物工 1 式
 舗装工 1 式 (下層路盤工 5,130 m²)

請負額 104,575,320 円
 評定点 87 点
 代表者 代表取締役 蛭沢 公洋
 現場代理人 三浦 雅之
 監理技術者 三浦 雅之
 推薦公所 上北地域県民局
 地域整備部
 総括監督員 飯豊 啓倉
 主任監督員 松倉 義人
 監督員 齋藤 敦厚

表彰理由

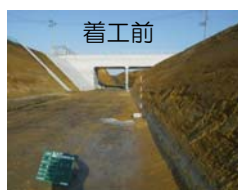
本工事は、下北地方生活圏と南部・青森地方生活圏との連携強化などを支援する地域高規格道路として計画された下北半島縦貫道路の一部を形成する切土区間の工事である。現場周辺では同時期に数社が隣接して工事を進めていたことから、お互いに連携し円滑に工事を進める必要があった。

そのような状況の中において、現場法面部にて確認された湧水に対し、速やかにその湧水を処理することで舗装内への浸透を防ぎ、現場や工程への影響を最小限に抑えた。また、積極的な二次製品の活用や、レーザー光トランシットを使用した側溝通りの確認などにより工期短縮を図った。併せて同社は、平成 27 年度の上半期において、国道 279 号道路改良工事に携わる受注者で組織される施工連絡協議会の会長を務めるなど、近隣施工請負者との各種調整役を務めた。それらの取り組みの結果、本工事において円滑な工事進捗が図れたところである。

以上、厳しい現場条件への対応や隣接工事との工程調整などを実施している点などが特に優秀であり、他の模範となる優良工事である。



完成



着工前



湧水処理の状況



連絡協議会



二次製品の活用状況



連絡協議会による清掃活動

受賞コメント

このたび、県土整備部長表彰を賜り、誠に有難うございます。ご指導いただきました監督職員の皆様並びに現場技術員の方、ご協力いただいた関係各位の皆様には心から感謝申し上げます。この職業に就いて数十年、この間の技術の進歩に後れぬよう必死に頑張ってきた結果が、こういう形で報われて大変うれしく思います。今後もこの受賞を励みとし、品質の向上と地域社会に貢献できるよう、精進を重ね努力して参ります。

代表取締役
蛭沢 公洋監理技術者
三浦 雅之

平成28年度 青森県県土整備部優良工事表彰(県土整備部長表彰)

工事名	押付沢砂防総合流域防災工事		
施工箇所	上北郡六ヶ所村大字泊地内		
受注者	附田建設(株)	県土整備部長表彰	
主任技術者	橋本 武彦	優良技術者表彰	

工事概要

工期 平成27年7月23日～平成28年3月23日

完成年月日 平成28年3月22日

概要 施工堤長 L=42.8m、堤高 H=1.0m
 法枠工 A=104.0m²
 堰堤本体工 N=1式
 垂直壁工 N=1式
 側壁工 N=1式、水叩き工 N=1式
 取付護岸工 L=5.0m

請負額 55,875,960円

評定点 86点

代表者 代表取締役 蘓武 昭男

現場代理人 橋本 武彦

主任技術者 橋本 武彦

推薦公所 上北地域県民局

地域整備部

総括監督員 荻沢 壽

主任監督員 佐々木 貢

監督員 成田 智洋

表彰理由

当該工事は、急峻な地形及び土石流危険渓流という作業範囲の制約が非常に厳しい施工環境であったが、積極的な工程調整及び多種多様な創意工夫により円滑にするとともに、冬期コンクリートの品質確保にも努め、工期内に工事を完成させた。また、将来の土木技術者の担い手確保の一助を目的として、現場見学会にも積極的に取り組んでいる。

以上のように、厳しい気象条件及び、急峻な地形での確実な施工が難しい中、現場見学会を開催するなど、他の模範となる優良工事である。

完成写真



現場見学会を実施



地すべり警報器の設置



投光器の設置



法面からの湧水対策



受賞コメント

このたび、県土整備部長表彰を賜り、誠に有難うございます。御指導を頂きました地域整備部の監督員の皆様、並びに御理解と御協力を頂きました地域の皆様には、心より感謝申し上げます。

この受賞を励みに、地域に信頼される企業として社員一丸となって精進して参ります。



代表取締役
蘓武 昭男



主任技術者
橋本 武彦

平成28年度 青森県県土整備部優良工事表彰(県土整備部長表彰)

工事名	むつ恐山公園大畑線橋梁架替(円山橋) 工事		
施工箇所	むつ市大字田名部地内		
受注者	(株)柴田組	県土整備部長表彰	
主任技術者	山田 博幸	優良技術者表彰	

工事概要	
工期	平成27年8月26日～平成28年3月31日
完成年月日	平成28年1月15日
概要	施工数量 N=1.0式 道路土工 N=1.0式 函渠基礎工(PHC杭) N=10本 旧橋撤去工 N=1.0式

請負額 30,364,200円
 評定点 84点
 代表者 代表取締役 柴田 文彦
 現場代理人 山田 博幸
 主任技術者 山田 博幸
 推薦公所 下北地域県民局
 地域整備部
 総括監督員 柿崎 輝昭
 主任監督員 岡 真二
 監督員 堀内 俊雄

表彰理由

本工事は、主要地方道むつ恐山公園大畑線の円山橋の架替えに伴う迂回路設置、旧橋取壊し及び新設橋の基礎杭(PHC杭27m×10箇所)打込を施工したものである。

迂回路設置にあたっては、新技術製品を活用し、恐山への多数の観光車両を安全かつ円滑に誘導した。

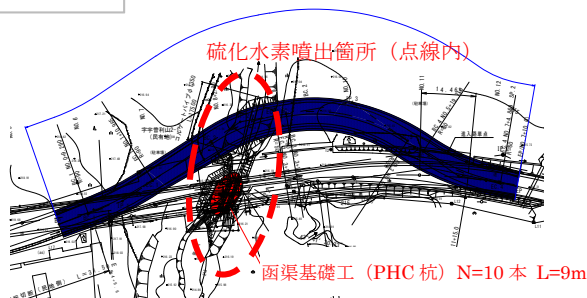
また、施工箇所の地下からは高濃度の硫化水素ガスが噴出し危険なことから、濃度検知器による常時観測、防毒マスク等の着用、ガス拡散用のジェットファンの使用等により、無事故で工事を完成させた。

更には、工事期間中に開催された『恐山往復駅伝』に関して、施工区間付近の一斉清掃や観客への駐車場開放、作業員による選手への応援等、積極的に協力し、工事のイメージアップにつなげた。

以上のように、本工事は、困難な施工条件の克服や徹底した安全対策、積極的な地域貢献による公共事業への理解向上等、顕著な取り組み及び成果が多数みられ、他の模範となる優良工事である。

工事平面図

迂回路 L=150.0m



硫化水素ガス噴出状況



防毒マスクを着用し施工



ガス濃度検知器により常時観測



駅伝大会の応援、地域貢献

受賞コメント

この度は、栄えある県土整備部長表彰を賜り、誠にありがとうございます。ご指導いただいた監督職員を始め、関係者各位には心より感謝申し上げます。本工事は、工事箇所の標高が高く、厳しい自然環境や、高濃度の硫化水素ガスが噴出する等の数々の困難な施工条件の中、一致団結して作業に当たり、無事に完成させた弊社従業員を誇りに思っています。今後も、この受賞に驕ることなく、地域の皆様に喜んでいただけるよう、更なる技術の向上や安全管理の徹底に努めて参りたいと存じます。

代表取締役
柴田文彦主任技術者
山田博幸